

## 農業後継者育成基金事業

### 令和5年度農業青年組織等活動活性化事業

事業主体名 伊佐YADクラブ

#### 1 目的

コロナの影響で伊佐地域内外の交流が停滞、また、伊佐米などの主力農産物の価格低迷が続いている状況である。そこで、伊佐YADクラブでは、先進地視察活動を通して、地域内外の農家・組織間交流の活性化に取り組むとともに、先進事例から経営発展につながるヒントを見出すなどして、個々の経営能力向上を図っていく。また、伊佐地区の主力品目である伊佐米や根深ねぎ等の産地PR活動を行い、地域農業の振興に貢献する。

#### 2 実施状況

##### (1)先進地視察の実施

さつま町の肉用牛一貫経営の法人（繁殖、肥育）と家畜人工授精所、日置市の肉用牛一貫経営の法人といちご農家を視察した。

子牛セリで肥育牛農家が注目しているポイントなど、様々な有益な情報を収集することができた。それらの情報は定例会等を通して、クラブ内で情報共有を行い、クラブ員の資質向上を図った。

新規就農者や農業に興味を持っている青年に対しても、先進地視察の案内を行い、飼養技術、栽培技術、経営に対する考え方などを学ぶ機会を提供することができた。

また、地域間交流として、日置地区青年農業者クラブ員と、互いの経営や取組について意見交換を行い、研鑽し合うことができた。



##### (2)伊佐ふるさとまつりで農産物PR活動

伊佐市で開催された伊佐ふるさとまつりへ出店し、クラブ員が栽培した伊佐米、根深ねぎを販売した。米品種のヒノヒカリとあきほなみの特徴を説明することで、消費者は自分好みのお米を選んで購入するなど、農産物への理解促進を図ることができた。



#### 3 今後の課題、取り組み

視察活動では、経営発展に繋がる情報収集だけでなく、人脈を拓ける機会となった。また、伊佐ふるさとまつりでは、アンケート実施により、消費者の農産物に対する動向やニーズを知ることができた。今後、これらの情報や人脈を生かし、経営改善や地域農業の振興に繋げていきたい。また、視察などの研修会を継続して企画し、伊佐地区の農業青年の資質向上に取り組んでいく。

